



士別ロータリークラブ会報

創立1960・3・24 RI第2500地区

vol. 30 No. 2129

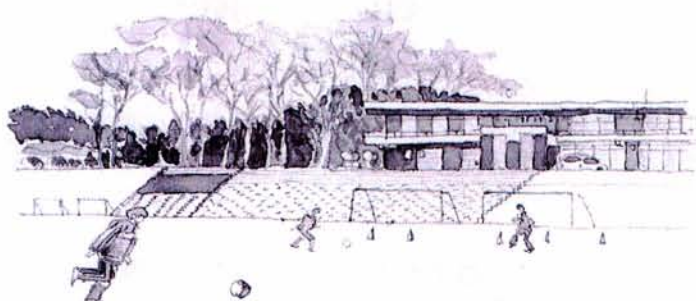
二世紀への出発 原点に戻ろうロータリー

超我の奉仕。

百年を礎に原点に戻ってもう一度ロータリーを語ろう

2005～2006年度 RI会長

カール・ヴィルヘルム・ステンハマー



百瀬達夫画

例会場/士別グランドホテル
例会日/毎週月曜日 12:10～13:10
事務所/士別グランドホテル
TEL (0165) 23-1234

会長/汐川 泰 晴
副会長/織戸 俊 二
幹事/川原 一 夫

士別河川防災ステーション (天塩川河川敷)

第2206回例会 2006年3月13日(月)

今日のプログラム ・普通例会

■前回(3月6日)の記録■ ・普通例会 ・誕生祝い ・理事会

司 会 藤吉敏博会場監督
斉 唱 君が代 それでこそロータリー
本日の出席 出席率83.0% 会員65人中 出席者54人
本日の欠席 泉谷 勇、坂野虎溪、谷 温恵、中川涼一、鍋島 秀、福島栄三、松塚信雄、吉川紀雄、
渡辺正一、阿達 勇、笹野孝志

メイクアップ
ビクター
ゲスト

ニコニコBOX 田中 全、奥水広志、犬伏彰吾、田中義博、阿達 勇、福澤丹治(以上誕生祝い)
谷 温恵(歓迎会御礼)、佐藤元信(信書便事業認可) 累計231,000円

例会予定

3月・世界ローターアクト週間

3月6日(月) 普通例会・理事会
3月13日(月) 普通例会
3月20日(月) 普通例会
3月27日(月) 夜間例会(士別ロータリー創立記念日例会)

4月・ロータリー雑誌月間

4月3日(月) 普通例会・理事会
4月10日(月) 普通例会
4月17日(月) 普通例会
4月24日(月) 夜間例会

■ 会務報告

汐川泰晴会長

さて、今月は「世界ローターアクト週間」となっております。

1968年、アメリカ・ノースカロライナ州ノースカロライナ大学シャーロット校で、企業家養成を専攻する数人のインターアクト所属の学生が大学版の新しいクラスをつくろうと努めたことが、その後ローターアクトへの創立につながり、世界で1番最初にクラスとして承認された3月13日を創立記念日として祝い、この日を含む一週間13日～19日を「世界ローターアクト週間」と定められたそうでございます。

ロータリークラブ提唱の18歳～30歳間までの青年男女によって構成される世界的青年団体のクラブで、手続き要覧によるローターアクトの目的は、青年男女が個々の能力の開発に当たって役に立つ知識や技能を高め、それぞれの地域社会における物質的、あるいは社会的ニーズに取り組み、親睦と奉仕活動を通じて全世界の人々の間によりよい信頼関係を推進するための機会を提供することにあると結んであります。

既にご覧になられていると思いますが、今月のロータリーの友3月号に、世界ローターアクト週間に因んで、最初のローターアクトクラスが発足した、当時の学生何人かのローターアクターから、今日の状況とクラスの思いでを尋ねた対談、また日本の各地で地域奉仕を通じて様々なイベントや親睦を深めているローターアクターの活動などが紹介された記事が掲載されております。ご一読頂きローターアクトにご理解を深めて頂ければと思います。

昨日の日曜日、第31回サフォークランド士別ピヒカラ樹氷歩くスキー大会が、士別市営陸上競技場で開催されました。協賛団体として名誉副大会長の委嘱と、ご案内を頂いておりましたので出席して参りました。

全道各地から250人を超える参加者のもと、冬の体力・健康づくりに皆さんいい汗を流されておりました。

本大会の準備・運営に当たりました大会長の岡田会員初め役員の方々の皆様大変ご苦労様でした。

■ 幹事報告

川原一夫幹事

- 1) 受信関係＝ガバナー3月号、名寄RC・美深RCから会報と例会案内、第31回サフォークランド士別ピヒカラ樹氷歩くスキー大会協賛の礼状
- 2) 例会後の理事会開催の案内

■ 次年度会長報告

大塚勝人次年度会長

ガバナーエレクトより2月16日から1週間にわたって、RI国際協議会に参加してきたということで、

その内容について文書が届いたので、次年度理事、委員長予定者には配布しましたが、今日、少し時間をいただき、ガバナーエレクトが国際協議会に参加してきた感想、所信などを説明したいと思います。

国際協議会はアメリカのサンチアゴで開催された。日本のロータリーはふたつに分かれて、連日勉強会をしたそうです。

まず最初にRI会長エレクトのビル・ポイド氏のこと書かれ、彼は実直で誠意あふれる人柄だと見受けられたそうです。ニュージーランド出身です。

私なりの感想ですがロータリーの基本にかえて、原点に戻ってという考え方のようです。

今日のロータリーの衰退傾向は、会員がロータリーの基本理念を理解せず、それゆえにロータリアンとしての誇り、湧き上がる意欲を見失っている、これが最大の衰退要因ではないかと書いています。次期RI会長の考え方でもあります。

私個人としては、どういうことが衰退しているかと最近よく考えるのですが、会員数が減少したら衰退というのでしょうか。ましてや寄付のだんだん額が少なくなると衰退しているといえるのでしょうか。

ロータリーはそれぞれの地方によって違います。士別は会員数も少なく、年収も大都市に比べ少ない会員が多い。財団への寄付ひとつをとっても毎年100ドルを簡単にらせる地区と毎年出すのが大変な地区もあります。士別は士別の身の丈にあった形で、そして一番大事なものは、みなさんが理解してできる範囲でやっつけようということだと思います。

自分たちがどうできるか、我々自身で考えて士別なりの財団への対処の仕方を考えなければならぬと思います

■ 3月の誕生祝い



3月に誕生日を迎えた会員は田中 全、奥水広志、犬伏彰吾、田中義博、阿達 勇、福澤丹治の各氏です。

※訂正：前号のロータリークラブ組織表で、若森孝会員、泉谷勇会員は「会計」ではなく「会場監督」「副会場監督」です。